

エコアクション21

環境経営レポート

第15版(2023年3月～2024年2月)
2024年4月25日作成



《目次》

| | |
|------------------------|-----|
| I. 環境経営方針 | P-1 |
| II. 事業活動の規模 | P-2 |
| III. EA21推進体制 | P-3 |
| IV. 環境経営目標とその実績 | P-4 |
| V. 環境経営活動の取組計画と評価 | P-5 |
| VI. 環境関連法規制の遵守 | P-6 |
| VII. 代表者による全体評価と見直しの結果 | P-6 |
| VIII. 環境活動の取組みの様子 | P-7 |

環境経営方針

企業理念

北斗機工は、主に車体骨格部品を構築する溶接設備機械を製作する企業として、地球環境の保全に社会的責任を担い社員全員が真摯に考え負荷物質の軽減に自発的に取り組み自然環境の保全と人や地球に優しい企業を目指し全力を尽くし活動していきます。

環境経営方針

1. 生産活動において、環境への負荷物質の削減を行っていきます。
 - 電力使用、化石燃料の使用の削減を行いCO₂削減を進めます。
 - 節水活動を行い、水使用の削減に努めます。
 - リサイクル活動を積極的に行い廃棄物の排出削減を進めます。
 - 設計において材料軽減、部品点数の削減、及びエコ部品などの使用を進めます。
2. 生産において環境法令、及び、条例等を遵守し、環境保全に努めます。
3. 全社員で環境活動への教育を行い環境保全に努めます。
4. エコアクション21の活動を維持し、継続的改善を推進していきます。

制定 2014年 3月 1日
改訂 2018年 3月 1日



 北斗機工株式会社
Hokuto Kiko Co.,Ltd.

代表取締役 代表取締役
高木 健久
管理責任者 管理責任者
高山 添平
副管理責任者 副管理責任者
田中館 時光

事業活動の規模

事業所名 北斗機工株式会社

代表者 茂木 健久

所在地 群馬県太田市大原町1324

TEL 0277-78-5167

FAX 0277-78-6889

e-mail info@hokutokiko.com

環境管理責任者 高山 恭平

副管理責任者 田中館 時光



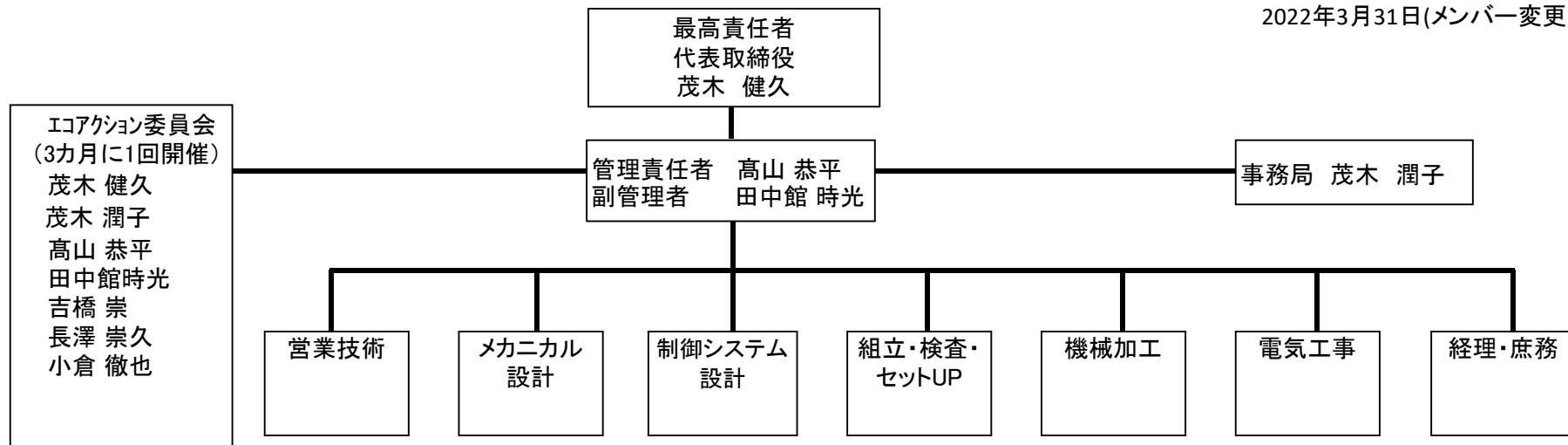
事業内容 産業用ロボットを使った溶接治具ロボットライン
及び専用機の開発・設計・製作

| 活動規模 | 単位 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 従業員 | 人 | 29 | 29 | 30 | 29 | 27 |
| 床面積 | m ² | 1805 | 1805 | 1805 | 1805 | 1805 |

年度期間は、3月～翌年2月まで

エコアクション21 推進組織図

改訂:2017年4月1日(メンバー変更)
 2018年3月30日 (組織変更)
 2022年3月31日(メンバー変更)



| 職名 | 役割 |
|------------|---|
| 最高責任者 | <p>【代表取締役 茂木 健久】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む)を準備する。</p> <p>③環境経営方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめ環境経営システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p> |
| 環境管理責任者 | <p>【高山 恭平・田中館 時光】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するためにエコアクション委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p> |
| 事務局 | <p>【茂木 潤子】</p> <p>①事務局として、管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p> |
| エコアクション委員会 | <p>最高責任者・管理責任者・事務局・エコアクション委員で構成し、3か月に1回環境管理責任者が召集する。</p> <p>環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。</p> <p>環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p> |

4. 環境経営目標とその実績

当社に於ける41期(2018/3/1～2019/2/28)の環境負荷実績を把握し、
下記に46期(2023/3/1～2024/2/29)の環境負荷実績を示す。

1. 主要な環境経営目標と環境負荷・実績

| 環境経営目標 | 基準値 | 3年後 の目標 | 今年度目標 | | 中期の目標 | | | 環境経営計画 実施事項 |
|-----------------------------------|----------------|----------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|--|
| | | | 46期 | | 47期 | 48期 | 49期 | |
| | 実績 | 目標 | 目標 | 実績 | 目標 | | | |
| ①時間当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg/稼働時間) | 0.897 kg-CO2/h | 41期に に対して 3%削減 | 41期 実績に に対して 3% 削減 | ○ 0.735 kg-CO2/h 15.51%削減 | 44期実 績に對し て1%削 減 | 44期実 績に對し て2%削 減 | 44期実 績に對し て3%削 減 | ①空調温度適正化・表示 ②照明等不要時のOFFの推進 ③エコドライブ推進 ④社用車の点検・整備 ⑤加工機の点検・整備 ⑥電力、ガソリン量の集計 |
| ②時間当たりの廃棄物排出量の削減(kg/稼働時間) | 0.282 kg/h | 41期に に対して 3%削減 | 41期 実績に に対して 3% 削減 | ○ 0.262 kg/h 3.98%削減 | 44期実 績に對し て1%削 減 | 44期実 績に對し て2%削 減 | 44期実 績に對し て3%削 減 | ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③マニフェストの管理の徹底 ④裏紙使用ルールの徹底 ⑤歩留まりを考えた材取りの実施 ⑥リサイクル活動の推進 |
| ③時間当たりの水資源投入量の削減(m ³) | 2.173 L/h | 41期に に対して 3%削減 | 41期 実績に に対して 3% 削減 | ○ 1.872 L/h 12.66%削減 | 44期実 績に對し て1%削 減 | 44期実 績に對し て2%削 減 | 44期実 績に對し て3%削 減 | ①節水の呼びかけ ②節水表示とその確認 ③原因分析と削減方法の検討 |
| ④化学物質取り扱い及び管理の徹底 | - | - | - | - | - | - | - | ①化学物質含有製品の把握 ②化学物質排出量の把握 ③化学物質排出削の削減方法の検討 |
| ⑤顧客満足度の向上 満足度調査の実施 | - | - | - | - | - | - | - | ①顧客満足度調査の実施 ②加工/組付け/調整工数の削減 ③クレーム/不具合の削減 |

2. 環境負荷の実績(総量)

| | 42期 | 43期 | 44期 | 45期 | 46期 |
|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) | 79,004 | 70,274 | 62,311 | 65,784 | 49,945 |
| 廃棄物排出量(kg) | 21,718 | 18,085 | 18,060 | 15,878 | 17,825 |
| 水資源投入量(m ³) | 156 | 171 | 156 | 146 | 131 |

CO₂排出係数は、0.475[kg-CO₂/kWh]です。(基礎排出係数)

5. 環境経営計画の取組みと評価

* 46期(2023年3月～2024年2月)の活動の取組みと評価をしております。

環境経営計画の取組み結果の評価

| | |
|---|--|
| <p>1. 二酸化炭素排出量の削減</p> <p>◎ 今期目標値は、達成できました。</p> <ul style="list-style-type: none">実施事項について① 空調温度の適正管理② 照明・PC電源の不要時のOFFの推進③ エコドライブの推進と社用車の点検整備 <p>目標が達成できた状況と要因</p> <p>コロナも落ち着き、暖冬と厚着対策で灯油の使用量が大幅に削減された。</p> <p>エアコンも日中の温かい時間は使わない時が多く、電気の使用量も削減された。</p> | <p>◎ 次年度の計画</p> <p>基準年-1%を目標に実施する。</p> <p>〈実施項目〉</p> <ul style="list-style-type: none">①空調温度適正化・表示②照明・PC電源不要時のOFFの推進③エコドライブ推進④社用車の点検・整備⑤加工機の点検・整備⑥電力、ガソリン量の集計 |
| <p>2. 廃棄物排出量の削減</p> <p>◎ 今期目標値は、達成できました。</p> <ul style="list-style-type: none">実施事項について① 分別ルールの徹底と呼びかけ② マニフェストの管理と産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出は期限内に行われています。 <p>目標が達成できた状況と要因</p> <p>分別の徹底により一般廃棄物の削減に成功。</p> <p>木/プラパレットを納品で使える様、工夫をしています。</p> | <p>◎ 次年度の計画</p> <p>基準年-1%を目標に実施する。</p> <p>〈実施項目〉</p> <ul style="list-style-type: none">①分別ルールの徹底②廃棄物置場の整備③マニフェストの管理の徹底④裏紙使用ルールの徹底⑤歩留りを考えた材取りの実施⑥リサイクル活動の推進 |
| <p>3. 水資源投入量の削減</p> <p>◎ 今期目標値は、達成できました。</p> <ul style="list-style-type: none">実施事項について① 使用量の確認と会社全体への呼びかけ② 手洗い場への節水の表示③ 水の再利用 <p>目標が達成できた状況と要因</p> <p>水の再利用化としてスポットクーラーのドレン水を水溶性の切削油を希釈するのに使用。</p> | <p>◎ 次年度の計画</p> <p>基準年-1%を目標に実施する。</p> <p>〈実施事項〉</p> <ul style="list-style-type: none">①節水の呼びかけと節水表示の確認②原因分析と削減方法の検討③水資源の有効活用の検討と実施 |
| <p>4. 化学物質取り扱い及び管理の徹底</p> <p>化学物質含有製品の把握と排出量の把握</p> <p>SDSの管理は行われております。</p> <p>引き続き化学物質含有製品の把握と</p> <p>化学物質排出削減、TXフリー化も取り組んでいきます。</p> | <p>◎ 次年度の計画</p> <p>継続して実施する。</p> <p>〈実施事項〉</p> <ul style="list-style-type: none">①化学物質含有製品の把握②化学物質排出量の把握③化学物質排出量の削減方法の検討 |
| <p>5. 顧客満足度調査の向上</p> <p>顧客満足度調査は年間計画通り行われております。</p> <p>クレーム、不適合発生時は手順に沿って対応し、再発防止に努めています。</p> | <p>◎ 次年度の計画</p> <p>継続して実施する。</p> <p>〈実施事項〉</p> <ul style="list-style-type: none">①顧客満足度調査の実施②加工/組付け/調整工数の削減③クレーム/不具合の削減 |

6. 環境関連法規制の順守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

| 法規制等の名称 | 要求事項 | 遵法状況 |
|------------------|-------------------------------------|------|
| 騒音規制法 | 特定施設設置の届出(H21年10月21日) 規制基準の厳守 | 遵法 |
| 振動規正法 | 特定施設設置の届出(H21年10月21日) 規制基準の厳守 | 遵法 |
| 悪臭防止法 | 規制基準の遵守(臭気指数21) | 遵法 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | マニフェストの交付/管理 産業廃棄物管理表交付等状況報告書の作成 | 遵法 |
| 浄化槽法 | 保守点検、清掃、水質定期検査の実施 | 遵法 |
| 消防法 | 少量危険物貯蔵所の届出(H9年3月18日) | 遵法 |

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

産業廃棄物管理票交付状況報告書の提出など、
全ての関連法規で遵法となっております。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直し結果

環境経営目標に対する実績は、本年度46期において全ての項目で達成できたことは非常に素晴らしい結果であったと思います。エコアクション委員会を中心とした継続的な活動、そして全社員一丸となっての取組み、またさらなる意識の向上にあったと確信しております。47期においては、目標値も改めての挑戦になっていきますが、常に途中経過を把握し、良き点、悪しき原因を追及し、出来る限り早めの対策を打つことを心掛けいきます。

特に良かった点としては、成功した要因の分析も委員会にて議論していること、それが継続的におこなっていけるような手立ても打っている点は、今後も活動に対して、非常に期待が持てます。

次年度も引き続き、数値目標のクリアだけに留まらず、更なる高い環境意識を全社員で共有し、より多くの工夫を凝らしていき、結果を求め、更なる排出削減を目指していきます。

以上

活動の様子

清掃活動



広範囲は出来ませんが、出来る範囲で清掃活動を毎年行っております。

水資源の再利用



夏場に使用するスポットクーラーに溜まるドレン水を水溶性切削油の希釈に使用しています。

塗料のTXフリー化



使用する塗料をTXフリーの物へ随時変更中
* TXフリーとはトルエン、キシレンを含まない塗料です。

イオン交換樹脂のリサイクル



廃プラとして処分していたイオン交換樹脂をメーカーに送ってリサイクルしています。

ゴミ分別の呼びかけ



ごみ箱を新調し、色分けをして更に分別が分かりやすくしました。

エアコンの内部洗浄



社内のエアコンを専門業者へ依頼して内部を洗浄していただきました。
効率良く稼働できることを期待します。